



MacBook Pro 13" Unibody Mid 2010 基板の交換

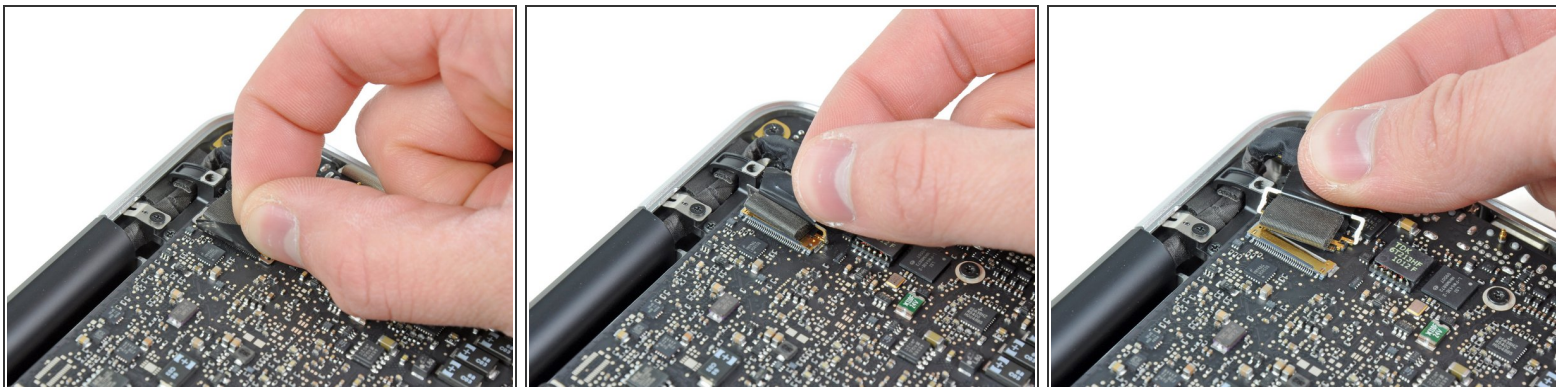
作成者: Walter Galan



 ツール:

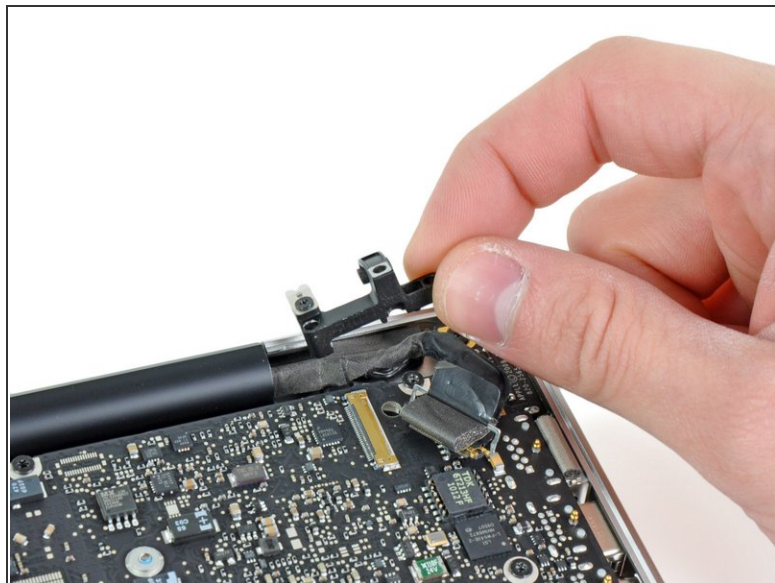
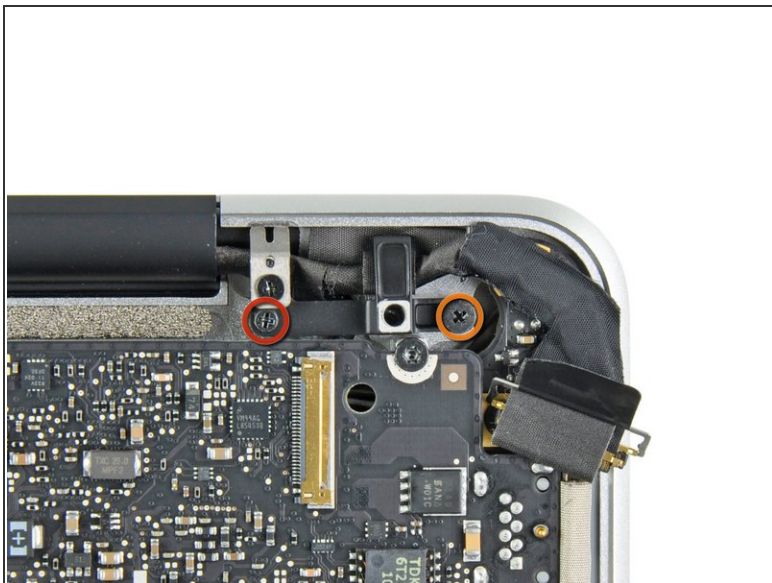
- [プラススクリュードライバー\(#00\)](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [T6トルクススクリュードライバー](#) (1)
- [トライポイントネジ Y0 ドライバー](#) (1)

手順 1 — 基板



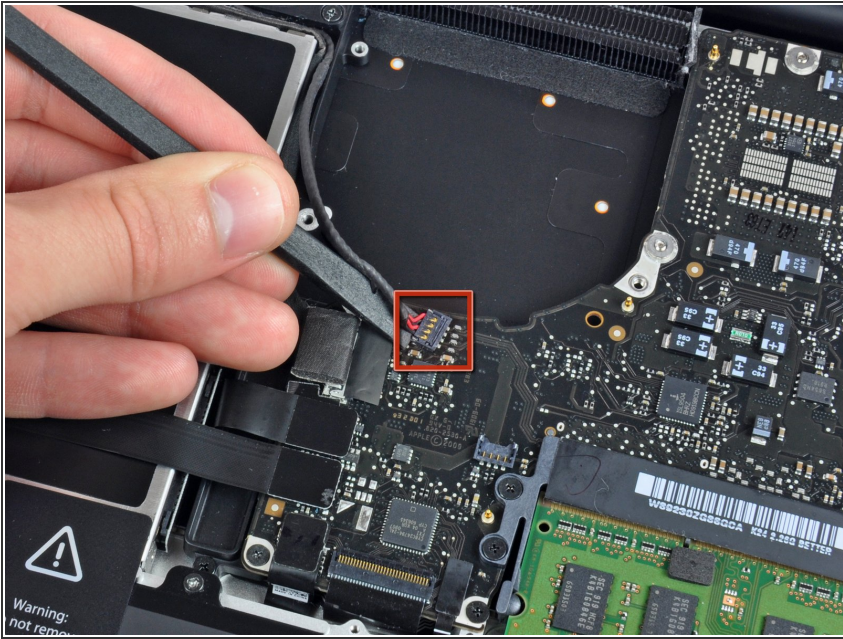
- ディスプレイデータケーブルのロックに固定されたプラスチックのタブを掴んで、コンピューターのDC-Inサイドに向けて回転させます。
 - ゆっくりとディスプレイデータケーブルのコネクタを基板と並行に引っ張ります。
- ⚠ コネクタを上向きに引っ張らないでください。コネクタにダメージを与えてしまいます。

手順 2



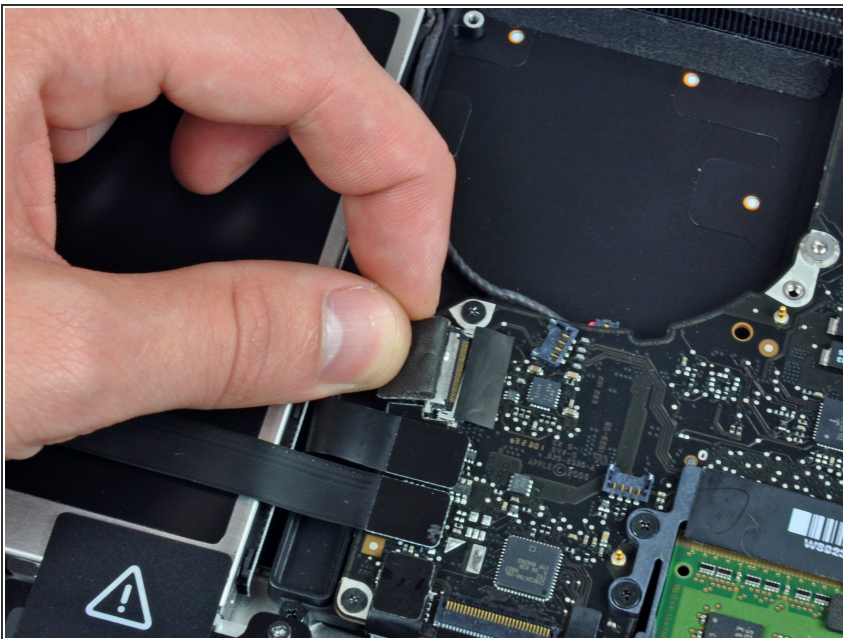
- ディスプレイデータケーブルのブラケットに上部ケースを固定している2本のネジを外します。
 - 8.6 mm プラスネジ 1本
 - 5.6 mm プラスネジ 1本
- ディスプレイデータケーブルのブラケットを上部ケースから持ち上げます。

手順 3



- スパッジャーの平面側先端を使って、サブウーファーと右側スピーカーのコネクタを基板から引き上げます。

手順 4



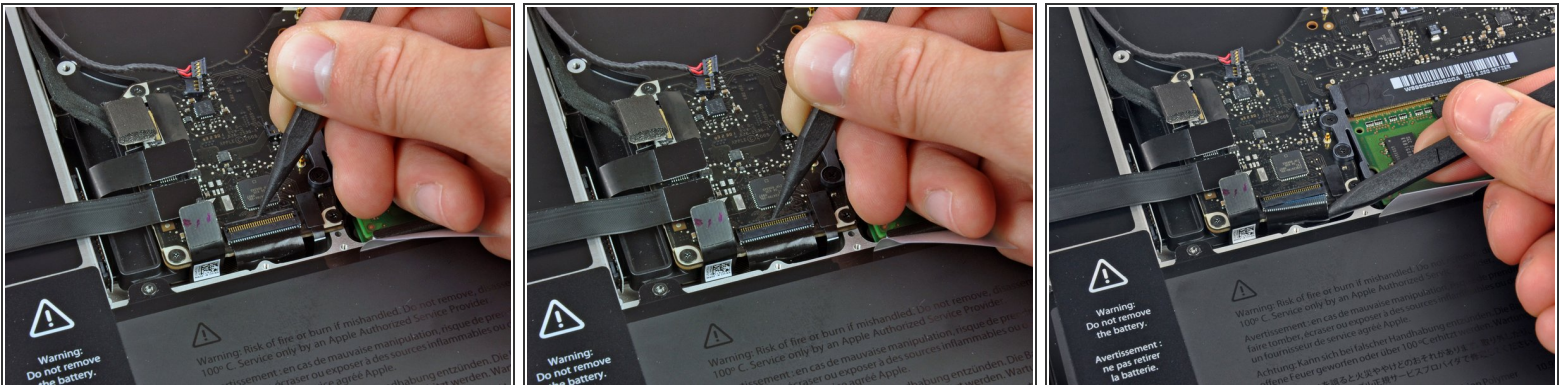
- カメラケーブルコネクタを光学ドライブ側に向けて引っ張り、基板から接続を外します。
- ① このソケットはメタル製で簡単に曲がってしまいます。コネクタを基板上のソケットと接続させる前に、位置を合わせて確認してください。

手順 5



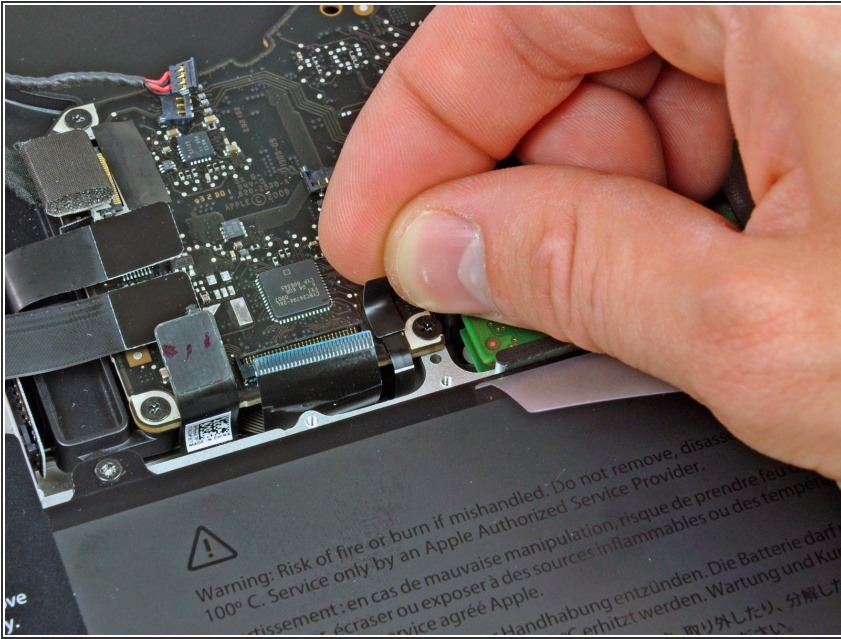
- スパッジャーの平面側先端を使って、光学ドライブ、ハードドライブ、トラックパッドケーブルコネクタを基板から引き抜きます。

手順 6



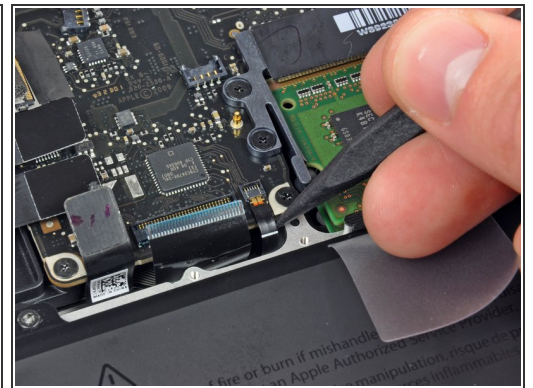
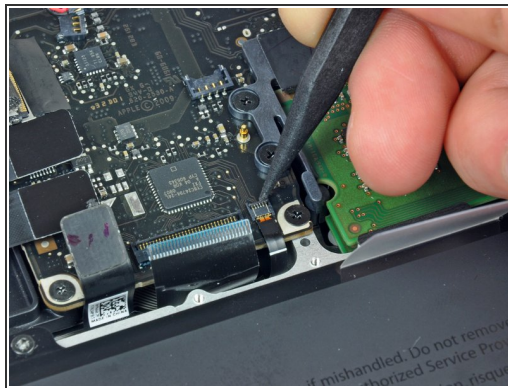
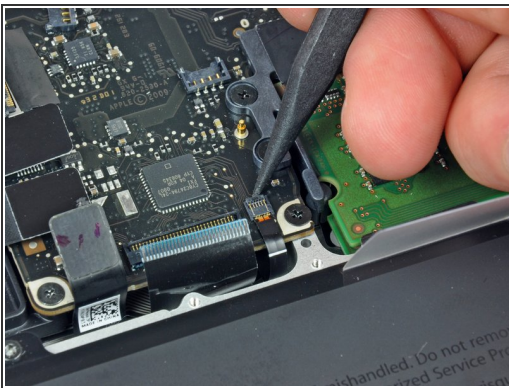
- 爪先やスパッジャーの先端を使って、キーボードリボンケーブル用のZIFソケット上の固定用ケーブルを引き上げて裏返します。
- キーボード用リボンケーブルをソケットからスライドさせるには、スパッジャーを使ってください。

手順 7



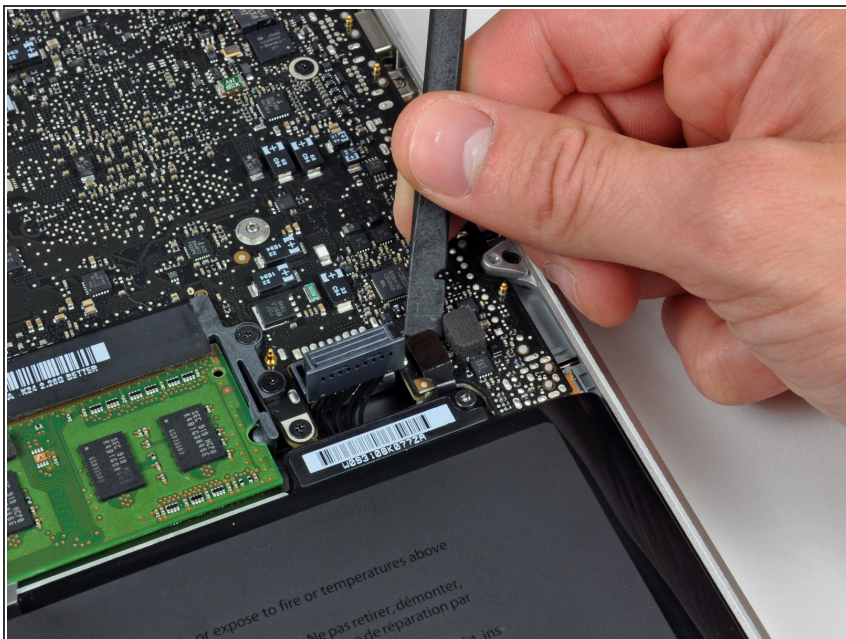
- キーボードバックライト用のリボンケーブルソケットから黒色のテープで小さな一片を剥がします。

手順 8



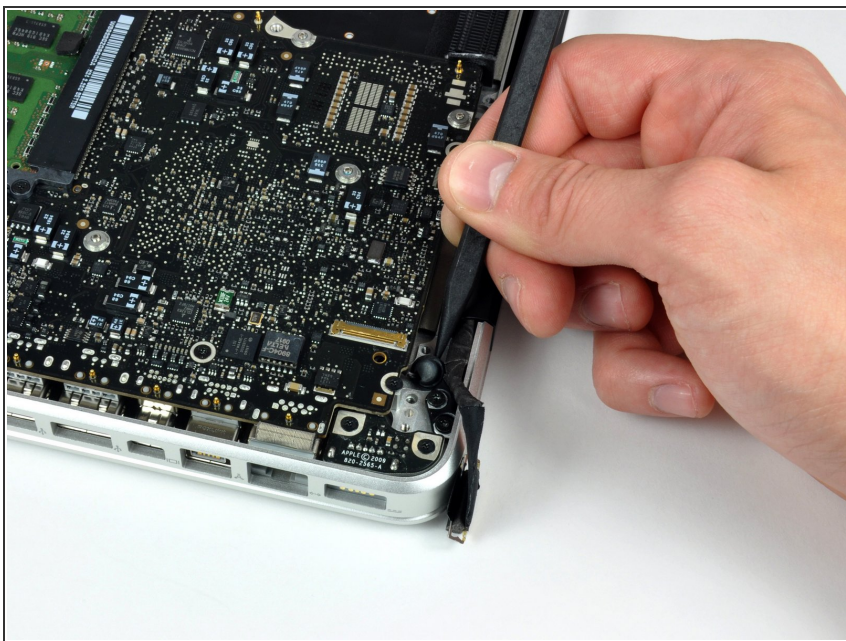
- スパジヤーの先端を使って、キーボードバックライト用のリボンケーブル用のZIFソケット上の固定ブラップケーブルを引き上げて裏返します。
- スパジヤーを使って、ソケットからキーボードのバックライトリボンケーブルをスライドします。

手順 9



- スパッジャーの平面側先端を使って、基板からバッテリーインディケータ用ケーブルコネクタを引き抜きます。

手順 10



- スパッジャーの先端を使って、上部ケースに留められた接着剤からマイクを引き上げます。

手順 11



- 次のネジを外します。
 - 7 mm T6トルクスネジ—2本
 - 3.3 mm T6トルクスネジ—5本
 - 4 mm T6トルクスネジ—2本

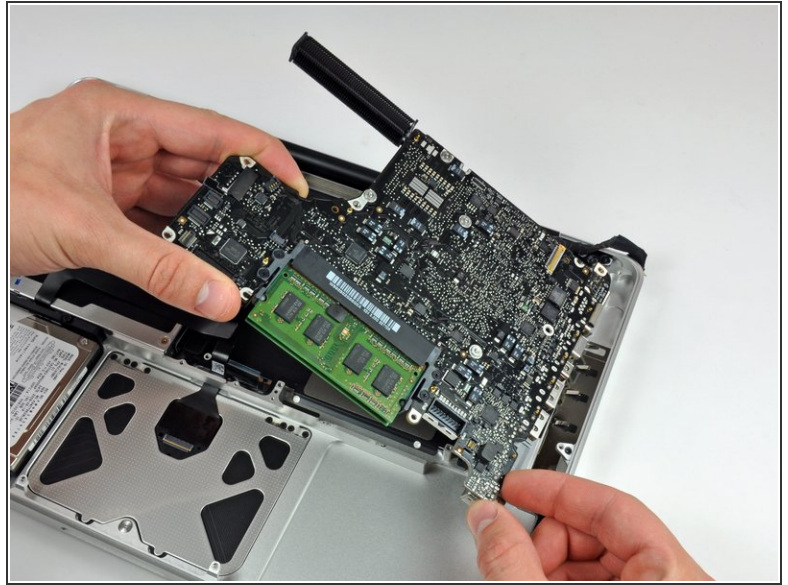
手順 12



❶ 基板を取り出す前にバッテリーを取り出す必要はありませんが、基板を簡単に安全に取り出しやすくなります。バッテリーを残す場合は、基板をバーコード付近のバッテリーケース側に向けて曲げないようにご注意ください。

- 上部ケースにバッテリーを固定している次のトライポイントネジを外します。
 - 5.5 mmトライポイントネジ—1本
 - 13.5 mmトライポイントネジ—1本
- 上部ケースからバッテリーを取り出します。

手順 13



- 上部ケースの横側がクリアになるまで、基板を左側から持ち上げます。
- 上部ケースサイドから基板を持ち上げて取り出します。DC-Inボードが絡まないようにご注意ください。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。